

FILE No. 10

厚生部

1 / 2

ファイルは全23 ファイル、[評価表の見方はFILE No.1](#)にあります。  
 ご覧になりたい[事業名をクリック](#)すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
福祉事務所	146	福祉事務所維持管理
	183	老人福祉措置
	192	高齢者ホームヘルプサービス
	209	福祉機器給付・貸与等
	210	住宅改造費の助成
	224	24時間巡回型介護
	261	自動車改造費等の助成
	240	身体障害者福祉措置
	241	知的障害者福祉措置
	243	福祉相談
	262	福祉機器の給付
	263	住宅改造費の助成
	287	家庭相談
	288	母子・女性相談
	290	母子福祉資金貸付
	358	被保護世帯に対する法外援護（出産祝金の支給）
	359	被保護世帯に対する法外援護（夏季健全育成費等の支給）
	360	生活保護費（保護費、嘱託医報酬、生活保護システム運用事務費、生活保護運営事務費）
	361	生活保護費（特別見舞金）
390	民営母子生活支援施設に対する保護委託	
391	助産施設に対する入所措置	
障害者福祉会館	322	障害者福祉会館施設維持管理
	323	障害者福祉会館利用者日常生活訓練
	324	障害者福祉会館各種相談
	325	障害者福祉会館訓練及び行事
	326	障害者福祉会館障害者団体等援助
	327	盲人会館施設維持管理

次頁

障害者福祉会館つづき / こども発達センター

FILE No. 10

厚生部

2 / 2

ファイルは全23 ファイル、[評価表の見方はFILE No.1](#)にあります。  
ご覧になりたい[事業名をクリック](#)すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
障害者福社会館	328	盲人ガイドヘルパー派遣委託
	329	生活園施設維持管理
	330	生活園給食運営
	331	生活園利用者通所経費
	332	生活園利用者日常生活訓練
	333	生活園訓練及び行事
	334	和田障害者交流館
こども発達センター	335	施設維持管理等
	336	給食運営
	337	利用者通所バス(たんぼぼ園通園バス)
	338	通園グループ指導(たんぼぼ園)
	339	訓練及び行事
	340	相談
	341	言語心理指導
	343	保健指導
	344	運動機能リハビリテーション
	345	巡回指導
346	療育講座等	

前頁

福祉事務所 / 障害者福社会館 Top

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉事務所維持管理			整理番号		146				
所属名		厚生部東福祉事務所		コード	91321		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		福祉事務所維持管理		コード	17600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		社会福祉法 第14条、15条、16条、17条					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区福祉に関する事務所設置条例					
	来庁する区民及び職員										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			施設の運営管理に要する委託料、建物修繕、光熱水費・電話料の支出、及び施設運営に要する旅費等の支出、事務用品等の購入。							
活動指標名			職員数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名								
庁舎を適切な状態にて使用できるよう維持管理を行い、福祉事務所の事業を円滑に進めていくために必要な経費を支出する。											
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
区民にとっても利用しやすくなり、職員にとっても働きやすい事務所となることで、地域福祉の拠点としての福祉事務所の役割を十分果たしていけるようになる											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		人	161	176	176	166				
	活動指標										
	成果指標										
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	48,648	58,538	55,574	54,298				
	職員数(正規 非常勤)		人	8.23	7.69	7.69	7.93	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	74,383	69,502	69,502	71,671			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	123,031	128,040	125,076	125,969				
	単位あたりコスト		千円	764	728	711	759				
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円	300	24	10	10			
		差引：一般財源		千円	122,731	128,016	125,066	125,959			
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			3所とも全体的に建物の老朽化が進んでおり、修繕を要する箇所が年々増加しているのに対し、近年の財政状況の悪化に伴い、今まで以上の経費削減・見直しが求められている中で、現状を維持するのが大変困難な状況となっている。(東福祉については平成13年度中に高円寺への移転が決まっている)							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			杉並区視覚障害者福祉協会から、視覚障害者のための音声標識ガイドシステムを設置してほしい旨要望がある。福祉施設側から、措置をした人達に対して区のケースワーカーの訪問回数をもっと増やしてほしい旨要望がある。							
	今後の予測			建物の老朽化が進むため、今後は修繕に要する費用が増大するものと思われる。また、生活保護受給者等の増加に伴い、事業に要する経費(電話料、旅費、役務費、消耗品等)が増加するものと思われる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	老人福祉措置	整理番号	183					
所属名	厚生部東福祉事務所	コード	91231					
予算事務事業名	老人福祉措置	コード	21600					
		上位施策名(コード)						
*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	老人福祉法 第6 7 1 1 2 1条					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 寝たきりや痴呆で、在宅で介護を受けるのが困難な高齢者	生活保護運営対策事業費等補助金交付要綱(老人福祉運 杉並区老人福祉法施行細則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	老人ホームでの介護を必要とする高齢者の申請を受けて、入所させる	活動指標名 判定委員会開催回数 (特別)養護老人ホーム入所者数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護を必要とする高齢者を老人ホームに入所させることにより、本人の生活の質(QOL)が向上し、家族の負担が軽減される。	成果指標名 (特別)養護老人ホーム入所希望者に占める累計入所者の割合  (特別)養護老人ホーム入所希望者に占める当該年度入所者の割合					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 高齢者本人のQOLの向上と、家族の介護負担軽減により、高齢者がゆたかにより自立していきることができる。								
区分		単位	10年度実績	11年度 計画	11年度 実績	12年度 計画	目標値 年度	目標値に対する11 年度の達成率%
指標	活動指標		回	11	6	4	4	
	活動指標		人	1,265	1,198	1,295	158	
	成果指標		%	63		62		
	成果指標		%	27		26		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,638,609	3,772,478	3,730,381	258,591	
	職員数(正規 非常勤)		人	11.73	10.89	10.36	6.52	特記事項 平成12年度から、特別養護老人ホームへの入所のほとんどは介護保険に移行。
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	106,016	98,424	93,634	58,928	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	3,744,625	3,870,902	3,824,015	317,519	
	単位あたりコスト		千円	340,420	645,150	956,004	79,380	
	財源	受益者負担分	千円	931,627	834,850	980,702	51,368	
		その他特定財源	千円	1,567	1,707	1,554	116	
差引:一般財源		千円	2,811,431	3,034,345	2,841,759	266,035		
受益者負担比率		%	24.9	21.6	25.6	16.2		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護を要する高齢者の増加に伴い事業規模が拡大し、特別養護老人ホーム待機者管理システムの導入など事務改善に努めてきたが、平成12年度から、特別養護老人ホームへの入所のほとんどが介護保険に移行し、緊急時等の対応と養護老人ホーム入所だけ残ったので、事業規模が大きく縮小した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		近く(区内)の施設に、より早く、よりスムーズに入所したい(させたい)。					
	今後の予測		特別養護老人ホームへの入所は介護保険に移行するが、緊急困難ケースの入所措置は残る。なお、高齢者ホームヘルプサービスの介護保険への移行に伴う事業の廃止で、移行できない緊急・困難ケース等の措置派遣も、本事業で対応することとなる。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者ホームヘルプサービス				整理番号		192		
所属名		厚生部南福祉事務所管理係		コード	91431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		高齢者ホームヘルプサービス		コード	23000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		老人福祉法第10条の3、第10の4				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都高齢者ホームヘルプ事業補助要綱				
	身体上又は精神上的の障害があって日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯。					杉並区高齢者ホームヘルプサービス事業運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			一週あたり18時間を限度としてホームヘルパーを派遣し、入浴の介助、食事の世話、買物、掃除などを行う。		活動指標名				派遣世帯数 延派遣回数
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			家事・介護が本人又は家族だけではできない世帯に対しホームヘルパーを派遣して在宅生活の維持・向上を確保する。		成果指標名				(代) 派遣世帯数 ÷ 申請世帯数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 日常生活を援助することにより、高齢者の自立と豊かな生活の実現に貢献する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
指標	活動指標		世帯	2,223	2,300					
	活動指標		回	140,683	156,676					
	成果指標		%	100	100					
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	734,870	948,479	897,399	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	34.90	21.37	21.37	0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	315,426	193,142	193,142	0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	1,050,296	1,141,621	1,090,541	0			
	単位あたりコスト		千円	472		474				
	財源	受益者負担分		千円	30,894	32,691	32,394			
		その他特定財源		千円	395,939	489,948	505,712			
		差引：一般財源		千円	623,463	618,982	552,435	0		
	受益者負担比率		%	2.9	2.9	3.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			医療の発達や食生活の改善などにより平均寿命も伸び、高齢者人口の割合も高くなっている。また、核家族化の進展もあり制度利用希望者は増加している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			派遣時間、派遣回数の増の要望がある。また、訪問の時間が画一的で希望する時間帯に来てもらえないという声もある。						
	今後の予測			平成12年度から介護保険制度による給付サービスに移行するため、高齢者ホームヘルプサービス事業は廃止とする。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉機器給付・貸付等				整理番号		209			
所属名		厚生部 西福祉事務所 管理係		コード	91331		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		福祉機器給付・貸付等		コード	23600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 54 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業					
事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		老人福祉法		東京都高齢者日常生活用具給付等事業実施要綱 杉並区高齢者福祉機器貸与等事業実施要綱					
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 寝たきり・虚弱及び一人暮らしの高齢者		活動指標名		貸与件数 給付件数					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		居宅での日常生活を容易にするために必要な機器の給付・貸与等を行う。		成果指標名		貸与件数 ÷ 申請件数  給付件数 ÷ 申請件数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者の自立を促し、在宅生活を可能とする。		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか							
事務事業の概要											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		件	3,359	3,013	0					
	活動指標		件	1,509	1,752	0					
	成果指標		率	100	100						
	成果指標		率	100	100						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	140,027	91,550	83,413	11,118				
	職員数(正規 非常勤)		人	6.25	6.75	6.97	1.14	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	56,488	61,007	62,995	10,303	助成基準限度額内 所得による負担あり 助成基準限度額を超過 全額個人負担 とも利用者から施工業者へ直接支払う			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費		千円	196,515	152,557	146,408	21,421				
	単位あたりコスト		千円	59		49	#DIV/0!				
	財源	受益者負担分	千円								
		その他特定財源	千円	39,375	63,954	22,925	0				
差引：一般財源		千円	157,140	88,603	123,483	21,421					
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者の増加と共に給付・貸付件数ともに増加・ (貸付件数 平成5年度 769件・ 8年度 2,689件) (給付件数 平成7年度 893件 9年度 1,160件)								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		最新機種の貸付希望								
	今後の予測		回収・廃棄業務を一部残し、介護保険制度による保険給付サービスに移行する。								



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		住宅改造費の助成				整理番号		210																																																																																																														
所属名		厚生部 西福祉事務所 管理係		コード	91331		上位施策名(コード)																																																																																																															
予算事務事業名		福祉機器給付・貸付等		コード	23600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する																																																																																																															
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 54 年度		根拠法令等																																																																																																																	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区高齢者住宅改造費助成事業実施要綱																																																																																																																	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 寝たきり・虚弱及び一人暮らしの高齢者																																																																																																																			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		居宅での日常生活を容易にするために必要な住宅改造費を助成する。		活動指標名 改造件数																																																																																																																	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者の自立を促し、在宅生活を可能とする。		成果指標名 改造件数 ÷ 申請件数																																																																																																																	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか																																																																																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">10年度実績</th> <th colspan="2">11年度</th> <th rowspan="2">12年度</th> <th rowspan="2">目標値</th> <th rowspan="2">目標値に対する11年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標</td> <td>件</td> <td>993</td> <td>1,522</td> <td>1,522</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>率</td> <td>100</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="9">総事業費・コスト把握</td> <td colspan="2">事業費</td> <td>千円</td> <td>51,103</td> <td>86,166</td> <td>86,166</td> <td>4,406</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員数(正規 非常勤)</td> <td>人</td> <td>4.77</td> <td>4.57</td> <td>5.42</td> <td>4.03</td> <td rowspan="9">特記事項 助成基準限度額内 所得による負担あり 助成基準限度額を超過 全額個人負担 とも利用者から施工業者へ直接支払う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>職員分(超勤分含む)</td> <td>千円</td> <td>43,111</td> <td>41,304</td> <td>48,986</td> <td>36,423</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>千円</td> <td>94,214</td> <td>127,470</td> <td>135,152</td> <td>40,829</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単位あたりコスト</td> <td>千円</td> <td>95</td> <td>84</td> <td>89</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源</td> <td>受益者負担分</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引：一般財源</td> <td>千円</td> <td>94,214</td> <td>127,470</td> <td>135,152</td> <td>40,829</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担比率</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	計画	実績	指標	活動指標	件	993	1,522	1,522	0		活動指標							成果指標	率	100		100			成果指標							総事業費・コスト把握	事業費		千円	51,103	86,166	86,166	4,406		職員数(正規 非常勤)		人	4.77	4.57	5.42	4.03	特記事項 助成基準限度額内 所得による負担あり 助成基準限度額を超過 全額個人負担 とも利用者から施工業者へ直接支払う	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	43,111	41,304	48,986	36,423	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	総事業費		千円	94,214	127,470	135,152	40,829	単位あたりコスト		千円	95	84	89	#DIV/0!	財源	受益者負担分	千円					その他特定財源	千円					差引：一般財源	千円	94,214	127,470	135,152	40,829	受益者負担比率		%				
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%																																																																																																															
			計画	実績																																																																																																																		
指標	活動指標	件	993	1,522	1,522	0																																																																																																																
	活動指標																																																																																																																					
	成果指標	率	100		100																																																																																																																	
	成果指標																																																																																																																					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	51,103	86,166	86,166	4,406																																																																																																															
	職員数(正規 非常勤)		人	4.77	4.57	5.42	4.03	特記事項 助成基準限度額内 所得による負担あり 助成基準限度額を超過 全額個人負担 とも利用者から施工業者へ直接支払う																																																																																																														
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	43,111	41,304	48,986	36,423																																																																																																															
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0																																																																																																															
	総事業費		千円	94,214	127,470	135,152	40,829																																																																																																															
	単位あたりコスト		千円	95	84	89	#DIV/0!																																																																																																															
	財源	受益者負担分	千円																																																																																																																			
		その他特定財源	千円																																																																																																																			
		差引：一般財源	千円	94,214	127,470	135,152	40,829																																																																																																															
受益者負担比率		%																																																																																																																				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者の増加と共に助成件数も増加している (平成7年度 599件・8年度 887件・9年度 791件 )																																																																																																																			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		申請から工事施工までの期間が長すぎる																																																																																																																			
	今後の予測		介護保険制度による保険給付サービスに移行。保険対象外の自立と判定された者への予防給付事業を区の一般施策として行う。																																																																																																																			

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		24時間巡回型介護				整理番号		224																																																																																																																																										
所属名		厚生部 西福祉事務所 管理係		コード	91331		上位施策名(コード)																																																																																																																																											
予算事務事業名		24時間巡回型介護		コード	25620		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する																																																																																																																																											
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業																																																																																																																																													
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11年度		老人福祉法																																																																																																																																													
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 心身の障害により常時介護が必要な高齢者		杉並区24時間巡回型介護事業実施要綱 杉並区高齢者ホームヘルプサービス事業運営要綱																																																																																																																																													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		訪問調査ののちにケアプランを作成し、ケア調整会議で派遣決定し、24時間巡回型サービスの提供を行う。		活動指標名 派遣延べ回数																																																																																																																																													
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者等の安らかな生活と介護者の負担軽減を図る。		成果指標名 派遣者数 ÷ 申請者数																																																																																																																																													
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか																																																																																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">10年度実績</th> <th colspan="2">11年度</th> <th rowspan="2">12年度</th> <th rowspan="2">目標値</th> <th rowspan="2">目標値に対する11年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標</td> <td>回</td> <td>34,148</td> <td></td> <td>40,056</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>率</td> <td>100</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">総事業費・コスト把握</td> <td colspan="2">事業費</td> <td>千円</td> <td>98,933</td> <td>124,014</td> <td>115,549</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員数(正規 非常勤)</td> <td>人</td> <td>1.58</td> <td>2.89</td> <td>2.89</td> <td></td> <td rowspan="10">特記事項 所得による自己負担あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>職員分(超勤分含む)</td> <td>千円</td> <td>14,280</td> <td>26,120</td> <td>26,120</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>千円</td> <td>113,213</td> <td>150,134</td> <td>141,669</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単位あたりコスト</td> <td>千円</td> <td>3</td> <td></td> <td>4</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源</td> <td>受益者負担分</td> <td>千円</td> <td>2,341</td> <td></td> <td>1,827</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源</td> <td>千円</td> <td>97,846</td> <td>95,428</td> <td>80,776</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>差引：一般財源</td> <td>千円</td> <td>13,026</td> <td>54,706</td> <td>59,066</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担比率</td> <td>%</td> <td>2.1</td> <td></td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業を取り巻く環境</td> <td colspan="2">開始当初から現在までの変化</td> <td colspan="7">平成8年度、9年度については区内一部地域で試行。10年7月から区内全域で実施。8年度 派遣25人。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の予測</td> <td colspan="7">介護保険制度による保険給付サービスに移行するが、今後制度で補えない需用が増大した場合は区の施策を考える必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>										区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	計画	実績	指標	活動指標	回	34,148		40,056	0		活動指標							成果指標	率	100		100			成果指標							総事業費・コスト把握	事業費		千円	98,933	124,014	115,549	0		職員数(正規 非常勤)		人	1.58	2.89	2.89		特記事項 所得による自己負担あり	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,280	26,120	26,120	0	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	総事業費		千円	113,213	150,134	141,669	0	単位あたりコスト		千円	3		4	#DIV/0!	財源	受益者負担分	千円	2,341		1,827		その他特定財源	千円	97,846	95,428	80,776	0	差引：一般財源	千円	13,026	54,706	59,066	0	受益者負担比率		%	2.1		1.3		事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成8年度、9年度については区内一部地域で試行。10年7月から区内全域で実施。8年度 派遣25人。							事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									今後の予測		介護保険制度による保険給付サービスに移行するが、今後制度で補えない需用が増大した場合は区の施策を考える必要がある。						
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%																																																																																																																																											
			計画	実績																																																																																																																																														
指標	活動指標	回	34,148		40,056	0																																																																																																																																												
	活動指標																																																																																																																																																	
	成果指標	率	100		100																																																																																																																																													
	成果指標																																																																																																																																																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	98,933	124,014	115,549	0																																																																																																																																											
	職員数(正規 非常勤)		人	1.58	2.89	2.89		特記事項 所得による自己負担あり																																																																																																																																										
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,280	26,120	26,120	0																																																																																																																																											
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0																																																																																																																																											
	総事業費		千円	113,213	150,134	141,669	0																																																																																																																																											
	単位あたりコスト		千円	3		4	#DIV/0!																																																																																																																																											
	財源	受益者負担分	千円	2,341		1,827																																																																																																																																												
		その他特定財源	千円	97,846	95,428	80,776	0																																																																																																																																											
		差引：一般財源	千円	13,026	54,706	59,066	0																																																																																																																																											
	受益者負担比率		%	2.1		1.3																																																																																																																																												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成8年度、9年度については区内一部地域で試行。10年7月から区内全域で実施。8年度 派遣25人。																																																																																																																																															
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)																																																																																																																																																	
	今後の予測		介護保険制度による保険給付サービスに移行するが、今後制度で補えない需用が増大した場合は区の施策を考える必要がある。																																																																																																																																															



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自動車改造費等の助成				整理番号		261		
所属名		厚生部西福祉事務所管理係		コード	91331		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		福祉機器給付・貸付等		コード	27400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 東京都身体障害者用自動車改造費助成事業実施要綱 東京都身体障害者自動車運転教習事業実施要綱 杉並区身体障害者用自動車改造費助成事業実施要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 身体障害者手帳所持者							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		在宅で重度の身体障害者に対して自動車改造費等を助成する。		活動指標名					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		重度身体障害者の自動車の改造に要する経費等を助成することにより、社会復帰の促進を図る。		成果指標名					
				自動車改造費助成件数 自動車運転教習費助成件数  自動車改造費助成件数と自動車改造費助成申請件数の割合  自動車運転教習費助成件数と自動車運転教習費助成申請件数の割合						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
重度身体障害者の社会復帰の促進を図り、福祉の増進に資する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		件	8	8	8	8			
	活動指標		件	8	8	2	8			
	成果指標		%	100	100	100	100			
	成果指標		%	100	100	100	100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,267	2,392	1,285	2,392			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.34	0.46	0.46	0.54	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,111	4,157	4,157	4,881		
		非常勤職員分		千円						
	総事業費		千円	14,378	6,549	5,442	7,273			
	単位あたりコスト		千円	899	409	544	454			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	474	535	477	535		
		差引：一般財源		千円	13,904	6,014	4,965	6,738		
		受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初と現在の比較では、それほど環境の変化はない。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		身体障害者の行動範囲の拡大につながり、この制度の存在が喜ばれている。							
	今後の予測		在宅の障害者に対しての支援であり今後とも継続していく必要がある。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者福祉措置				整理番号		240			
所属名		厚生部東福祉事務所		コード	91235		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		心身障害者福祉措置		コード	25800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 身体障害者福祉法、第9条、9条の2、11条の2、18条、18条の2	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区身体障害者福祉法施行細則						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		活動指標名		施設入所者委託数 補装具の交付及び修理件数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		身体障害者更生援護施設への入通所委託措置及び補装具の給付		成果指標名		施設入所希望者に占める施設入所者の割合  補装具給付申請件数に占める支給件数の割合				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		身体障害者福祉法に基づき、障害者への施設入通所委託措置及び補装具の給付等の援護を行い、身体障害者の心身の健康保持・増進を図る。		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		障害者の自立と社会参加の促進を図ることにより、更生援護施設への入所者及び在宅生活者に対して必要とする福祉サービスを提供することができる。				
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績	計画	年度				
	活動指標	人	59	60	59	63					
	活動指標	件	3,448	4,044	3,781	3,182					
成果指標	%	82	83	82	89						
成果指標	%	100	100	100	100						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	254,940	306,722	268,822	356,178				
	職員数(正規 非常勤)		人	4.85	6.24	6.24	6.25	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	44,601	56,397	56,397	56,488	高齢者等の介護保険への移行にも拘らず、12年度の事業規模が縮減していないのは、児童の補装具支給が都から移管されたことによる。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費		千円	299,541	363,119	325,219	412,666				
	単位あたりコスト		千円	5,077	6,052	5,512	6,550				
	財源	受益者負担分	千円	13,362	13,542	13,344	16,212				
		その他特定財源	千円	126,004	143,341	136,569	175,072				
差引：一般財源		千円	160,175	206,236	175,306	221,382					
受益者負担比率		%	4.5	3.7	4.1	3.9					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		手帳所持者が増加する中で、施設入所せざる得ない重度の身障者が増加、身体の欠損や機能の損傷を補う補装具の需要も増えてきている。 手帳所持者数 平成9年度 9,486人、10年度 9,858人、11年度 10,204人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		施設に早く入りたい、補装具の種類を増やしてほしい、判定方法を分かりやすく改善してほしい、自己負担金の低減を求める、等。								
	今後の予測		従来の手帳所持者へのサービスと平成12年度実施の介護保険制度による保険サービスとの整合性を図りながら、適切なサービスの提供体制の整備することが必要になってくる。また、法改正により、平成15年度から施設入所が措置から契約に変わる。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者福祉措置				整理番号		241		
所属名		厚生部東福祉事務所		コード	91235		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		心身障害者福祉措置		コード	25800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 知的障害者福祉法第9条、10条、13条、16条第1項第2号、22条 杉並区知的障害者福祉法施行細則				
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名				
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 15以上の知的障害者		知的障害者とその家族の相談に応じ、援護施設への入所・通所委託、知的障害者通勤寮・生活寮への入所委託等を措置する。		知的障害者相談受付延人数(家庭訪問を含む) 施設入・通所措置者数				
事務事業の概要		意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		知的障害者福祉法の規定に基づき、施設入所等の措置を行い、福祉の増進を図る。		成果指標名				
						施設入所措置者数 ÷ 入所希望者数  施設通所措置者数 ÷ 通所希望者数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
施設福祉というサービスの提供により、知的障害者の自立支援と必要な保護を行うことができる。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標		活動指標	人	4,260	4,260	4,301	4,364			
		活動指標	人	477	541	491	563			
		成果指標	%	92		88				
		成果指標	%	93		92				
総事業費・コスト把握		事業費	千円	818,785	865,489	847,613	899,744			
		職員数(正規 非常勤)	人	8.89	9.82	9.82	10.13	特記事項		
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	80,348	88,753	88,753	91,555		
			非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
		総事業費		千円	899,133	954,242	936,366	991,299		
		単位あたりコスト		千円	211	224	218	227		
		財源	受益者負担分	千円	69,083	76,478	72,345	74,487		
			その他特定財源	千円	546,045	578,093	590,785	605,404		
			差引:一般財源	千円	284,005	299,671	273,236	311,408		
		受益者負担比率		%	7.7	8.0	7.7	7.5		
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		知的障害者は増加の傾向にあり、入所施設への措置希望者は増えている。愛の手帳所持者数(平成9年度 1,326人、10年度 1,377人、11年度 1,413人、12年度 1,454人)						
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		都内施設への入所待機者数が増えている。都内に新規施設を作ってほしい等の意見が寄せられている。						
		今後の予測		法改正により、平成15年度から施設入所が措置から契約に変わる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉相談				整理番号		243			
所属名		厚生部東福祉事務所		コード		91235		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		福祉相談		コード		26200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 47 年度		根拠法令等					
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 身体障害者福祉法、第11条、第11条の2 東京都心身障害者(児)巡回相談実施要綱 杉並区ろうあ者相談事業運営要綱					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内に居住する心身に障害のある者及び聴覚障害者							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			東京都が実施する心身障害者に対する総合福祉相談の共催福祉事務所での相談時の手話通訳。		活動指標名					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			障害者の身近なところで円滑に総合福祉の相談に応じられることによって、障害者の手帳の交付・補装具の判定等や聴覚障害者の利便性の向上を図る。		成果指標名					
					福祉相談者数						
					福祉相談者数に占める福祉相談申請者数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
障害者が身近な場所で福祉の総合相談、障害者手帳・愛の手帳の取得や補装具の判定ができる。聴覚障害者の相談が円滑に行われる。											
指標		区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
					計画	実績	計画	年度			
		活動指標	人	91	100	57	100				
		活動指標	件								
		成果指標	人	100	100	100	100				
		成果指標	件								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	428	428	339	428				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.34	0.03	0.74	0.03	0.79	0.03	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,111	6,688	6,688	7,140				
		非常勤職員分	千円	93	93	93	93				
	総事業費		千円	12,632	7,210	7,121	7,662				
	単位あたりコスト		千円	139	72	125	77				
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円							
差引:一般財源		千円	12,632	7,210	7,121	7,662					
		受益者負担比率	%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			総合福祉相談の相談件数は10年度までは平均していたが、11年度においては減少した。なお、手話通訳相談件数は年毎に多少の変動が見られる。福祉相談 8年度 87件、9年度 83件、10年度 75件、11年度 57件、手話通訳 8年度 7件、9年度 21件、10年度 11件、11年度 12件							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			障害者にとって、都心身障害者センターまで出向くことなく判定等が可能なので、苦情など等は少なくなっている。聴覚団体から、毎日手話通訳者を配置してほしいとの要望が出ている。(現行、各福祉事務所月2回)							
	今後の予測			都の心障センターへ出向くことが困難な重度の障害者や聴覚障害者の利便性の確保のためには、今後も継続して共催していくことが必要である。しかし、近年障害者の判定医の増加及び都心身センターが比較的近くにあるので、事業の廃止等含めて検討することが、今後求められる。							



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		住宅改造費の助成				整理番号	263		
所属名		厚生部西福祉事務所管理係		コード	91331	上位施策名(コード)			
予算事務事業名		福祉機器給付・貸付		コード	27400	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度 事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度 対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 身体障害者手帳所持者				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区重度心身障害者(児)住宅改造費助成事業実施要綱 重度身体障害者(児)住宅設備改善費給付事業実施要綱 重度身体障害者(児)住宅改修給付事業実施要綱(国)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 在宅の重度の身体障害者(児)に対し、住宅改造費を助成する。				活動指標名 住宅改造費の助成件数				
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 重度身体障害者の住宅改造費を助成することにより在宅生活を可能にする。また介護者の負担を軽減する。				成果指標名 住宅改造費の助成件数と住宅改造費申請件数の割合				
	意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 重度身体障害者の社会復帰の促進を図り、福祉の増進に資する。								
	意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 重度身体障害者の社会復帰の促進を図り、福祉の増進に資する。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		件	171	174	167	196		
	活動指標								
	成果指標		%	100	100	100	100		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,705	32,807	41,255	39,513		
	職員数(正規 非常勤)		人	3.37	0.00	3.16	0.00	2.85	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	30,458	28,560	28,560	25,758	特記事項 所得により自己負担有
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	63,163	61,367	69,815	65,271		
	単位あたりコスト		千円	369	353	418	333		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	
		その他特定財源		千円	2,705	802	487	666	
		差引:一般財源		千円	60,458	60,565	69,328	64,605	
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			ほぼ横ばいである。12年度からは介護保険制度の導入により減少する。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			住宅改造の完了まで時間がかかりすぎる。手続きが煩雑である。					
	今後の予測			介護保険の導入により減少する。					



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家庭相談		整理番号		287			
所属名		厚生部西福祉事務所 管理係		コード		91332			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		母子相談員等活動費		コード		29200			
*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する									
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		昭和39年厚生省発児92号		杉並区家庭相談事業実施要綱	
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区非常勤職員規則			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			家庭内での人間関係などに悩む区民。		活動指標名		相談件数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			家庭内での人間関係の調整が図られ、円滑な家庭生活ができています。		成果指標名		(代)相談解決件数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 悩みを聞き整理していく中で、解決の糸口を見出すと共に、必要に応じ法律相談などを紹介。母子、婦人相談員につなげ、問題の解決をすすめている。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	13年度		
指標	活動指標		件	235	221	221	210		
	活動指標								
	成果指標						210		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,528	5,731	5,629	5,769		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.17	0.17	0.17	0.15	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,536	1,536	1,536		1,356
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	7,064	7,267	7,165	7,125		
	単位あたりコスト		千円	30	33	32	34		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引：一般財源		千円	7,064	7,267	7,165	7,125			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		家族、近隣との連帯感も希薄になり、過剰な情報に翻弄されるなかで、適当な相談相手も見つからない状況が生み出されている。しかし、相談件数は減少傾向にある。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		家庭相談員が福祉事務所に配置されていることが、一般に周知されていないという声がある。						
	今後の予測		核家族化が進み、家庭内における支援体制が弱くなりつつあるため、本事業への需要はますます複雑、多様化するものと見込まれる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		母子,女性相談				整理番号		288	
所属名		厚生部西福祉事務所 管理係		コード	91332		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		母子相談員等活動費		コード	29200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業			
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		母子及び寡婦福祉法第7条,8条					
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 母子及び寡婦,売春を行うおそれのある女性等。		売春防止法による母子相談員の設置要綱					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		母子及び寡婦,に対する相談指導。援助。売春を行うおそれのある女性等への相談指導、援助。		活動指標名		相談件数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		母子及び寡婦の生活が安定する。売春を行うおそれのある女性等がいなくなる状態。女性に対する暴力がなくなり、安定した生活が送れる状態。		成果指標名		緊急一時入所件数			
						母子生活支援施設入所世帯			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 12年度	目標値に対する11年度の達成率%		
			計画	実績					
指標	活動指標	件	2,154	2,400	2,587	2,700			
	活動指標								
	成果指標	件	37	45	46	50			
	成果指標	世帯	19	20	16	25			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,781	3,931	4,012	3,101			
	職員数(正規 非常勤)	人	1.98	1.93	1.93	1.89	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	17,895	17,443	17,443		17,082	
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	
	総事業費	千円	20,676	21,374	21,455	20,183			
	単位あたりコスト	千円	10	9	8	7			
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円						
		差引:一般財源	千円	20,676	21,374	21,455		20,183	
	受益者負担比率	%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	売春を行った女性への更生指導自立援助は減少し、現在は母子家庭への援助や女性の自立支援が中心となっている。また家庭内暴力など緊急一時保護対策が増えている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	母子・女性相談員が福祉事務所に置かれ、緊急一時保護等の対応がとられていることを一般的に周知されていないとの声がある。							
	今後の予測	不況、雇用の深刻化や家庭内暴力の顕在化などにより相談援助件数の増加が見込まれる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		母子福祉資金貸付				整理番号		290		
所属名		厚生部西福祉事務所 管理係		コード	91332	上位施策名(コード)				
予算事務事業名		母子福祉資金貸付		コード	29600	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等						<input type="checkbox"/> 実施計画事業
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		母子及び寡婦福祉法第10条		東京都母子福祉資金貸付条例		杉並区長委任条項第7条,第10条		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 母子家庭の母,子		活動指標名		相談実人員				
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		母子家庭に対する資金貸付		成果指標名		貸付件数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		母子家庭の母とその扶養する子が経済的に自立し、生活意欲の向上が図られている状態。		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		他で貸付を受けることが困難な母子家庭に対して、自立援助の役割を果たしている。			
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	12年度			
指標	活動指標		人	216	210	209	220			
	活動指標									
	成果指標		件	216	220	209	220			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	580	661	631	244			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.40	1.46	1.46	1.56	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,653	13,195	13,195	14,099		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	13,233	13,856	13,826	14,343			
	単位あたりコスト		千円	61	66	66	65			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引:一般財源		千円	13,233	13,856	13,826	14,343				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		修学資金、就学支度資金などの児童教育に関する貸付が8割以上となっている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		申請から貸付まで迅速な対応が求められる。							
	今後の予測		不況、雇用不安など資金貸付の需要は高まっており、件数増が考えられる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		被保護世帯に対する法外援護（出産祝金の支給）				整理番号		358				
所属名		厚生部南福祉事務所管理係		コード		91431		上位施策名（コード）				
予算事務事業名		被保護世帯に対する法外援護		コード		34800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業						
事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		杉並区生活保護世帯等に対する祝金支給要綱								
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 生活保護法による被保護世帯のうち子供を出産した世帯。		活動指標名								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		子供を出産した被保護世帯から祝金の申請書と母子手帳等の提示を受け、出産が確認できたら当該被保護世帯の一子につき1万円を支給する。				出産した被保護世帯						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		子供を出産したときに祝金を贈って祝福することで、自立の意欲を助長する。				成果指標名 （代）支給世帯数 ÷ 対象世帯数						
事務事業の概要		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
					計画	実績	計画	年度				
指標		活動指標	世帯	1		0						
		活動指標										
		成果指標	%	100		0						
		成果指標										
総事業費・コスト把握		事業費	千円	10		40		0		0		
		職員数（正規   非常勤）	人	0.31		0.00		0.00		0.00	特記事項	
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,802		0		0			0
			非常勤職員分	千円	0		0		0			0
			総事業費	千円	2,812		40		0			0
			単位あたりコスト	千円	2,812		#DIV/0!					
		財源	受益者負担分	千円	0		0		0			0
			その他特定財源	千円			0		0			0
			差引：一般財源	千円	2,812		40		0			0
			受益者負担比率	%	0.0		0.0		#DIV/0!			#DIV/0!
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		景気回復の遅れは、企業の倒産・リストラなどを招き失業者数を増加させ続けている。この不況の波は、生活に困窮する世帯にとって一層厳しい状況であり、特に疾病世帯や高齢世帯の再就職が難しく、生活保護を受ける世帯が急増している。								
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		出産時には、さまざまな出費が多いため、祝金の支給は、大変助かるので、今後も内容を充実させて継続してほしい。								
		今後の予測		被保護世帯の多くは、高齢世帯や単身世帯であるため、出産祝金の支給対象が急激に増大する見込みはない。（平成11年度をもって廃止）								



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活保護費（保護費、嘱託医報酬、生活保護システム運用事務費、生活保護運営事務費）				整理番号		360				
所属名		厚生部南福祉事務所管理係		コード		91431						
予算事務事業名		保護費		コード		35000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		生活保護法						
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		生活保護法施行令						
	高年齢・障害・傷病等によって生活に困窮する区民					生活保護法施行規則						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			生活の困窮の程度に応じ、最低限度の経済保障を行うとともに、世帯の自立に向けた援助を行う。		活動指標名				被保護世帯数 保護開始数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			生活に困窮した区民が、その原因を取り除き、自立した生活を営めるようになる。		成果指標名				（代）保護開始世帯数 ÷ 申請世帯数（住所不定者の職権保護を除く）			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
					計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		世帯	2,146			2,387					
	活動指標		世帯	597			640					
	成果指標		%	95			95					
	成果指標											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,395,339		5,765,409	5,717,486	6,428,571				
	職員数(正規 非常勤)		人	45.57	51.24	51.26	52.48		特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	411,862		463,107	463,288	474,314			
		非常勤職員分		千円	0		0	0	0			
	総事業費		千円	5,807,201		6,228,516	6,180,774	6,902,885				
	単位あたりコスト		千円	2,706			2,589					
	財源	受益者負担分		千円								
		その他特定財源		千円	4,181,629		4,197,108	4,370,158	4,993,166			
		差引：一般財源		千円	1,625,572		2,031,408	1,810,616	1,909,719			
	受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			23区中保護率は低く、3%台で推移してきたが、バブル経済崩壊以来、上昇に転じ、現在5%台にある。現在の経済状況等から当分被保護世帯数・人員は、増加を続けると思われる。（平成10年度末2146世帯、平成11年度末2387世帯で前年比111.2%）被保護者の内容も、精神障害、アルコール・薬物依存、多重債務者など処遇困難ケースが増加している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			経済的に困っていたときに、保護制度を利用できとても助かった。今後も制度を充実させてほしい。医療扶助の手続きを簡素化してほしい。保護を受けることに抵抗の無いような制度にして、必要なときすぐ利用できるようにしてほしい。								
	今後の予測			景気の低迷の影響等により、今後いっそう被保護世帯の増加が予想される。								



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活保護費（特別見舞金）				整理番号		361		
所属名		厚生部南福祉事務所管理係		コード		91431		上位施策名（コード）		
予算事務事業名		生活保護費		コード		35000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		平成12年度東京都生活保護世帯に対する見舞金支給事務						
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		生活保護法による被保護世帯						
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			活動指標名						
	世帯構成人数に応じ、3,850円～7,900円の範囲で見舞金を夏と冬の年二回に支給する。			夏季・冬季見舞金支給世帯数						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			成果指標名						
	被保護世帯に対し見舞金を支給することにより、激励と日頃の自立更生の努力をねぎらい、世帯の自立を助長する。			(代)支給世帯数÷対象世帯数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値年度	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画				
指標	活動指標		世帯	3,782		4,223				
	活動指標									
	成果指標		%	100		100				
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,140	17,150	17,036	16,557			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.73	1.02	1.02	1.15	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15,636	9,219	9,219	10,394		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	30,776	26,369	26,255	26,951			
	単位あたりコスト		千円	8		6				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	15,002	15,920	16,789	16,874		
		差引：一般財源		千円	15,774	10,449	9,466	10,077		
		受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			景気回復の遅れは、企業の倒産・リストラなどを招き失業者数を増加させ続けている。この不況の波は、生活に困窮する世帯にとって一層厳しい状況であり、特に疾病世帯や高齢世帯の再就職が難しく、生活保護を受ける世帯が急増している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			夏冬の臨時需要が多い時期に支給されるので、生活の助けになりありがたい。自立の励みになるので今後とも継続してほしい。						
	今後の予測			長引く不況は社会全体に対し将来への不安を抱かせているため、企業も大幅な雇用を行うかどうかについては予測が難しく、失業率が急激に減るとは考えにくい。生活保護世帯は今後も増加すると見込まれる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営母子生活支援施設に対する保護委託				整理番号	390		
所属名		厚生部東福祉事務所管理係		コード	91231	上位施策名(コード)			
予算事務事業名		民営母子生活支援施設に対する保護委託		コード	38800	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 児童福祉法第23条、51条、53条、55条、56条 杉並区児童福祉法施行細則第1条、9条、10条 杉並区母子生活支援施設扶助要綱			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			母子生活支援施設委託措置費の支弁、区内の民間母子生活支援施設に対して国基準措置費に区が加算して支弁をし、運営の充実を図る		活動指標名			
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			母子家庭に対し宿所を提供するだけでなく、母親の就労指導と自立援助を図り、児童の健全育成を助長し、これらの家庭の福祉増進に寄与する。		成果指標名			
					措置世帯数(年度末実数) 措置人数(年度末実数)				
					退所世帯数 退所人数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 児童のより良い生活を実現し、心身ともに健全に育てることができる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		世帯	36	40	35	40		
	活動指標		人	86	100	88	100		
	成果指標		世帯	18		15			
	成果指標		人	45		38			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	125,363	132,958	125,982	130,477		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.16	0.16	0.16	0.15	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,446	1,446	1,446		1,356
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	126,809	134,404	127,428	131,833		
	単位あたりコスト		千円	3,522	3,360	3,641	3,296		
	財源	受益者負担分		千円	191	216	91		114
		その他特定財源		千円	72,792	77,599	73,282		77,795
		差引:一般財源		千円	53,826	56,589	54,055		53,924
	受益者負担比率		%	0.2	0.2	0.1	0.1		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			当初は戦争による寡婦のための支援施設であったが、今日では離婚母子の経済的理由による入居者が増えている。 (措置件数 9年度 16世帯44人、10年度 19世帯43人、11年度 16世帯45人)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			住環境の向上 (施設の老朽化、狭隘、共同便所、風呂など)					
	今後の予測			法改正で、平成13年度から施設入所が「措置」から「契約」に変わる。他の区市町村の母子の入所を依頼されるケースもでてくる(広域利用)。単身の女性の緊急一時保護施設としての利用も求められる(同)。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		助産施設に対する入所措置				整理番号		391		
所属名		厚生部南福祉事務所管理係		コード		91431		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
予算事務事業名		助産施設に対する入所措置		コード		39000				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成    40 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有    平成 年度		児童福祉法				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 入院して分娩する費用に困窮する妊産婦		杉並区児童福祉法施行細則				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			助産施設における、分娩の介助、前後の処置及び看護に要する費用を支給する。		活動指標名				措置決定者数 申請者数
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			経済的に困窮する妊産婦が施設助産を受けることにより、安心して出産することができ、児童の健全な育成を図ることができる。		成果指標名				(代) 措置決定者数 ÷ 申請者数
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値		目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績		計画	年度		
指標	活動指標		人	13		13				
	活動指標		人	13		13				
	成果指標		%	100		100				
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,078	6,547	4,746	6,251	特記事項		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.41	0.59	0.65	0.47			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,706	5,332	5,875			4,248
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0
	総事業費		千円	6,784	11,879	10,621	10,499			
	単位あたりコスト		千円	522		817				
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
		差引：一般財源		千円	6,784	11,879	10,621			10,499
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			制度利用者数は、減少しているが、母子家庭・留学生世帯等経済的にゆとりのない世帯の利用はある。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			経済的に困ったときにたいへん役立ち、助かった。今後も継続してほしい。						
	今後の予測			児童福祉法に基づく制度のため、国による見直しが行われ、平成13年4月措置から契約へと移行する。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館施設維持管理				整理番号		322				
所属名		厚生部障害者福祉会館管理係		コード		91531		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		障害者福祉会館		コード		31400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		身体障害者福祉法						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		身体障害者福祉センターの設置運営要綱						
	障害者福祉会館利用者(心身障害者及びその家族、介助者、ボランティア、障害者団体、ボランティア団体)					杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名						
障害者団体等に施設(8部屋)及び備品を無償で貸し出すとともに、障害者等を対象とした講習会等(7講習会、1講演会、1講座、在宅障害者交流事業「ふれあい広場」=週5)					施設(部屋)利用回数(午前・午後・夜間を1単位)				在宅者交流事業登録者数及び講習会受講者数			
意図(対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名							
障害者福祉会館をできるだけ多くの障害者・団体等に利用してもらつとともに、在宅者交流事業や講習会等を開催することにより、障害者相互の交流と趣味の充実を図り日常生活を豊かにする。					利用率							
					$\frac{\text{(在宅者交流事業登録者数+講習会受講者数)}}{\text{(在宅者交流事業登録希望者数+講習会受講希望者数)}}$							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
障害者団体等の活動の場を確保することによって、団体の円滑な運営に寄与する。また、在宅者交流事業や講習会等を開催することによって、障害者の社会参加及び自立の促進を図る。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績	計画	13年度					
指標		活動指標	回	4,128	4,347	4,162	4,968	4,968	83.8			
		活動指標	人	507	517	502	491	491	102.2			
		成果指標	%	57	60	57	60	60	60	95.0		
		成果指標	%	57	60	58	60	60	60	96.7		
総事業費・コスト把握		事業費	千円	57,152	54,759	52,736	52,732					
		職員数(正規 非常勤)	人	5.40	0.53	5.43	0.53	5.43	0.53	4.80	0.53	特記事項
		人件費	千円	48,805	49,076	49,076	43,382					
		非常勤職員分	千円	1,651	1,651	1,651	1,651					
		総事業費	千円	107,609	105,487	103,464	97,766					
		単位あたりコスト	千円	26	24	25	20					
		財源	千円	287	318	275	318					
		受益者負担分	千円	5,076	5,154	5,251	6,217					
		その他特定財源	千円	102,246	100,015	97,938	91,231					
		差引:一般財源	千円	0.3	0.3	0.3	0.3					
受益者負担比率	%											
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化	訓練室の廃止及び他施設への移行に伴い、貸し出し部屋数が増加した。 昭和57年度 5部屋 平成6年度 7部屋 平成12年度 8部屋									
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	講習会の受講希望に100%応えられていないことについての苦情・要望は強い。 (平均倍率が2倍弱と高く、多くの人が受講できない状況にある) 在宅者交流事業については、日常生活の充実に役立つとともに、家族の介護負担の軽減につながっており、好意的評価を受けている。									
		今後の予測	現在、高円寺に建設中の「障害者集会施設」が平成14年度にオープンすると、障害者福祉会館における団体等への部屋の貸し出し件数は減るものと見込まれる。									

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館利用者日常生活訓練			整理番号		323								
所属名		障害者福祉会館管理係		コード	91531		上位施策名(コード)								
予算事務事業名		障害者福祉会館		コード	31400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業						
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		身体障害者福祉法 東京都身体障害者デイサービス事業等運営要綱 杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例、同施行規則									
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他											
	15歳以上の区民で、心身及び言語機能に障害がある人及び身辺介護を要する肢体不自由者及び重複障害者。														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			機能訓練は原則10名1グループとし、6カ月間生活リハビリ的訓練を行う。生活訓練は週5日の通所により、個々の能力やニーズに応じた社会生活上必要な基礎知識の習得等を図											
活動指標名			生活訓練及び機能訓練を受けた延人数 訓練延日数												
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			家庭や地域社会の中で自立した生活や社会参加(就労、環境整備、技術支援等)を送れるように援助することを目的とする。												
成果指標名			機能訓練移行先決定者÷機能訓練在籍者数  自主的活動グループの結成												
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか															
障害者の心身機能の向上と社会参加を促進することによって、その障害者の生活が豊かになり、共に生きる社会づくりに貢献している。															
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%							
				計画	実績	計画	13年度								
指標	活動指標		人	2,711	2,710	2,393	1,230	1,250							
	活動指標		日	369	370	398	180	180							
	成果指標		%	44	50	59	50	50							
	成果指標		会	1	1	1	2	2							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	48,812	44,427	43,878	30,844								
	職員数(正規 非常勤)		人	8.61	8.65	8.65	4.92	特記事項							
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	77,817	78,179	78,179	44,467	事業費には通所バス経費及び給食経費等を含む。また、平成10・11年度事業費には、生活訓練事業に係る経費が含まれている。平成12年度から生活訓練事業は通所施設(なのはな生活園)へ移行したため、現在は機能訓練のみ。							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0								
	総事業費		千円	126,629	122,606	122,057	75,311								
	単位あたりコスト		千円	47	45	51	61								
	財源	受益者負担分	千円	435	930	1,028	933								
		その他特定財源	千円	4,335	4,155	4,369	3,637								
		差引:一般財源	千円	121,859	117,521	116,660	70,741								
受益者負担比率		%	0.3	0.8	0.8	1.2									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成12年度から生活訓練事業はなのはな生活園に移行し、身体障害者福祉センター(B型)事業のみとなった。平成12年度から介護保険の導入等の対象者との整合性をふまえたうえで18歳以上おおむね65歳以下の方を対象とした。平成5年度より老人保健法による機能訓練事業との役割分担を行った(おおむね60歳までの区内全域を対象とした。)											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			半年に1回の募集のため、随時の対応が望まれている。集団訓練を主としているため、個別的なニーズに対応してほしいと望まれていると同時に、介護者の負担軽減につながっているという声がある。											
	今後の予測			介護保険サービスの明確化と社会福祉基礎構造改革(平成15年)により、今後の障害者の地域生活支援が求められるため、個別的なサービス提供が望まれる。											



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館各種相談				整理番号		324		
所属名		障害者福祉会館管理係		コード	91531		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		障害者福祉会館		コード	31400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		身体障害者福祉法				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		身体障害者福祉センター設置運営要綱				
	障害者とその家族、介護者					杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例、同施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			地域生活や就労、進路などの相談に電話、面接、訪問を行う。病気、予防法、健康管理、機能訓練の相談に専門医師が助言指導を行う。		活動指標名				健康・生活・就労・進路相談件数
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			生活の問題が解決し、心の安定が図られるとともに、適切なサービスを受けることができ、生活の向上が図られる。		成果指標名				相談に応じ、問題が解決した、サービスに適切につながった件数÷相談件数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
障害者と家族、介護者の相談、マネジメント機関の役割を果たすことによって、障害者の生活を総合的に支援することができ、自立と生活の安定を図る。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	13年度			
指標	活動指標		件	715	715	625	625	640	97.6	
	活動指標									
	成果指標		%	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,260	2,268	2,229	2,290	2,300	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.84	0.53	0.84	0.53	0.84		0.53
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,592	7,592	7,592	7,592		
		非常勤職員分		千円	1,651	1,651	1,651	1,651		
	総事業費		千円	11,503	11,511	11,472	11,533			
	単位あたりコスト		千円	16	16	18	18			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	201	212	222	270		
		差引：一般財源		千円	11,302	11,299	11,250	11,263		
		受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			開始当初は、区内障害者の相談と通所者の相談を行ってきた。現在は、通所部門も減り、外来の相談も増えていない。相談内容については多様化し、対象者の障害種別も多岐に及んでいる。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			既存の相談機関には相談しにくいこと、主治医には話しにくいことを気軽に相談できる場である。						
	今後の予測			措置制度から利用制度に平成15年に変わる。その中で会館は、地域自立生活支援センターとして相談マネジメント機関となる。障害者へのケアマネジメント支援、専門職のチームによる援助、自己決定、地域生活支援の拠点として不可欠な機関となる。						



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館訓練及び行事				整理番号		325				
所属名		厚生部障害者福祉会館管理係		コード		91531		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		障害者福祉会館		コード		31400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		身体障害者福祉法						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例						
	生活訓練室利用者及び機能訓練室利用者					杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			生活訓練室宿泊訓練(年1回、1泊2日)、機能訓練室遠足(年2回=前後期各1回、日帰り)を実施する。		活動指標名				参加者数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			生活訓練室宿泊訓練 社会経験を積む貴重な機会とするとともに、他者とのコミュニケーションを図り、主体的な行動を取れるようにし、自立心を涵養させる。 機能訓練室遠足 訓練生相互の交流を図るとともに、外出に対する興味を高め、社会参加をすすめる。		成果指標名				利用者の満足度			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
宿泊訓練や遠足を実施することによって、訓練生相互及び他者との交流を図るとともに、生活の幅を広げることができ、障害者の社会参加及び自立の促進を図ることができた。												
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
					計画	実績	計画	年度				
指標		活動指標	人	37		48		34				
		活動指標										
		成果指標	%	100		100		100				
		成果指標										
総事業費・コスト把握		事業費	千円	413		529		319				
		職員数(正規 非常勤)	人	0.51	0.00	0.51	0.00	0.51	0.00			
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,609		4,609		4,609		0	特記事項 生活訓練室の移行(平成12年4月から、なのはな生活園へ)に伴い、平成12年度は事業(執行項目)廃止。また、機能訓練室遠足については事業費がないため、平成12年度は執行項目030「利用者日常生活訓練」に遠足にかかる人件費を算入。
			非常勤職員分	千円	0		0		0		0	
		総事業費	千円	5,022		5,138		4,928		0		
		単位あたりコスト	千円	136		107		145				
		財源	受益者負担分	千円	6		6		0			
			その他特定財源	千円	37		50		32			
差引:一般財源	千円		4,979		5,082		4,896		0			
受益者負担比率	%	0.1		0.1		0.0						
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化			生活訓練室の宿泊訓練については、訓練室の廃止(なのはな生活園への移行)に伴い、平成11年度をもって事業終了。また、機能訓練室の遠足については、平成12年度より事業費をかけずに実施することとした。							
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			生活訓練室の宿泊訓練、機能訓練室の遠足とも好評であり、継続を望む声は強い。							
		今後の予測			障害者の社会参加とともに需要は増加すると思われる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館障害者団体等援助				整理番号		326									
所属名		厚生部障害者福祉会館管理係		コード		91531		上位施策名(コード)									
予算事務事業名		障害者福祉会館		コード		31400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する									
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業												
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区障害者福祉会館及び盲人会館条例、同施行規則												
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並障害者福祉会館運営協議会補助金交付要綱												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並障害者福祉会館運営協議会、杉並社会福祉協議会への委託事業等を利用する障害者団体及び障害者		杉並区手話通訳者派遣事業実施要綱												
	活動指標名		障害者団体(19団体)集会所の管理、手話通訳者の派遣事業、言語訓練等を委託により実施し、福祉展等催物の開催経費を補助している。		心身障害者集会所利用回数(1日単位を1回として集計) 各種催物参加者数												
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者団体の活動を援助し、障害者の社会活動の参加を高める。		成果指標名													
				利用率(集会室の充足率)													
				催物の定員及び計画数に対する参加率													
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか																	
障害者の社会活動の参加が高まり、ノーマライゼーションのまちづくりが進む。																	
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%						
						計画	実績	計画	17年度								
指標		活動指標		回		381		416		303		504		900		33.7	
		活動指標		人		2,720		3,305		2,864		3,255		3,500		81.8	
		成果指標		%		53		60		41		60		65		63.1	
		成果指標		%		85		100		87		100		100		87.0	
総事業費・コスト把握		事業費		千円		16,293		16,289		13,647		9,375					
		職員数(正規 非常勤)		人		0.84		0.84		0.84		0.71				特記事項 「単位あたりコスト」には、手話通訳者派遣事業、各種催物補助等の経費が含まれている。 平成17年度の目標値には、新たな障害者集会所の開設による集会室数(4室)が見込まれている。	
		人件費		職員分(超勤分含む)		千円		7,592		7,592		7,592		6,417			
				非常勤職員分		千円		0		0		0		0			
				総事業費		千円		23,885		23,881		21,239		15,792			
				単位あたりコスト		千円		63		57		70		31			
		財源		受益者負担分		千円		0		0		0		60			
				その他特定財源		千円		1,447		1,524		1,359		1,106			
差引:一般財源				千円		22,438		22,357		19,880		14,626					
		受益者負担比率		%		0.0		0.0		0.0		0.4					
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		心身障害者団体集会所については、開所以来借上げ施設により対応してきたが、平成11年10月末で契約期限切れのため返還し、平成14年4月(予定)から新たに東福祉事務所に併設して開所するまで、阿佐谷南の旧なのはな生活園に一時的に移転し、活用している。													
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		新規に開設する心身障害者集会所については、各障害者団体等から障害者にとって使いやすい設備や備品の設置要望がある。 手話通訳者派遣事業については、夜間・土・日の受付体制の要望がある。													
		今後の予測		新規に開設する心身障害者集会所については、19団体に限らず、一般障害者団体や障害者個人に利用を広げ、地の利も良いことから利用者は増加するものと思われる。 手話の普及が進みつつあるので、手話通訳者の派遣の増加が予測される。													

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		盲人会館施設維持管理			整理番号		327			
所属名		障害者福祉会館 管理係		コード	91531		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		盲人会館		コード	31800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		身体障害者福祉法 盲人ホーム運営要綱 杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例、同施行規則				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
	区内の視覚障害者及びその家族・ボランティア団体。 区内の三療の免許を有する重度視覚障害者で、雇用・自営が困難な者									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名							
運営を視覚障害者団体に委託し、三療の施術の場の提供と、盲人向けの講習会・レクリエーション等の提供及び施設の貸出し			三療利用者数 講習会参加者数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名							
三療の免許を有する視覚障害者で、雇用・自営が困難な者に施術の場を提供する事によって、雇用若しくは開業できる実力をつけさせ自立を促す。また点字・ワープロ等の講習会を実施する事によって教養を深める。			施術登録年数の平均  視覚障害者全体から見た講習会利用者数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 視覚障害者の自立を高め、生活の質の向上を図る。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		人	2,935	3,000	3,054	3,100	3,500	101.0	
	活動指標		人(延)	417	430	449	470	550	104.0	
	成果指標		年	8	7	8	7	5	88.0	
	成果指標		%	47	47	49	50	50	104.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,101	16,683	15,536	14,965	15,000	93.0	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.34	0.34	0.34	0.36	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,073	3,073	3,073	3,254		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	18,174	19,756	18,609	18,219			
	単位あたりコスト		千円	6	7	6	6			
	財源	受益者負担分		千円	9	6	9	11		
		その他特定財源		千円	2,142	2,126	2,115	2,141		
		差引:一般財源		千円	16,023	17,624	16,485	16,067		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.1				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			開始時より延3,000人前後の利用あり。記録の残っている中で最高は平成7年度の3,540人。平成11年度は3,054人だった。講習会参加者も延人数400人台、最高470人ほどで大きな変動はない。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			平成10年度の三療受療者アンケートより、清潔で静かで良い、施術者も受付も丁寧でよいとおおむね施設・人は好評であるが、施術者の指名が取りにくい、土日が混むのでその対応のやり方の改善を望む声があった。 講習会においてパソコン教室の問い合わせがあった。(現在はワープロのみ)						
	今後の予測			今だ視覚障害者の就職は難しく、また経済不況により開業も困難ときいているので、施術登録者の自立はかなり難しい。また病気等による中途失明者も、高齢者の増加と共に増えると思われる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		盲人ガイドヘルパー派遣委託				整理番号		328		
所属名		障害者福祉会館 管理係		コード		91531		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		盲人会館		コード		31800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 59 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		身体障害者福祉法				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都重度視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			委託事業とし、初めに派遣希望者及びガイドヘルパー従事者それぞれ事前にメンバー登録し、要望があった際調整して派遣する。ただし利用目的は制限される。		杉並区盲人ガイドヘルパー派遣事業実施要項				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			重度の視覚障害者が生活上必要な外出(例えば通院や公的機関への外出または冠婚葬祭・文化活動のような社会参加)をする際付添いが得られない場合でも外出できるようになる。		成果指標名 重度視覚障害者全体数から見た登録者数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 重度視覚障害者の自主的な外出を援助する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	17年度			
指標	活動指標		回	1,595	1,600	1,670	1,800	2,500	104.4	
	活動指標		人	105	110	111	125	171	100.9	
	成果指標		%	18	19	19	22	30	100.0	
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,113	7,744	7,951	7,754	10,000	102.0	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.17	0.17	0.17	0.12	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,567	1,536	1,536	1,085		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	9,680	9,280	9,487	8,839			
	単位あたりコスト		千円	6	6	6	5			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	5,833	8,091	5,410	5,635		
		差引:一般財源		千円	3,847	1,189	4,077	3,204		
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			昭和59年より杉並区単独事業として委託して実施。東京都も独自の要綱を作り、昭和49年から委託して実施していた。昭和63年厚生省より盲人ガイドヘルパー事業が身体障害者家庭奉仕員等派遣事業に取り入れて実施されることにより、全て市区町村が実施主体となり国と都は経費の一部を補助することとなった。平成2年、派遣事由が緩和された。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			ガイドヘルパーの意図からはずれた利用や、利用者とガイドの行き違いによって生じる若干の苦情がある。また盲ろうの障害を持つ人からヘルパー利用の希望があった						
	今後の予測			個人の生活が多様化するにつれて外出時の利用目的がさらに多岐にわたって来る。重複の障害者についてどのガイドヘルパーが最適か調整するところが必要になる。さらに高齢者の増加により中途視覚障害者への対応が増える。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活園施設維持管理			整理番号		329			
所属名		厚生部障害者福祉会館こすもす生活園		コード	91542		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		こすもす生活園		コード	32200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		身体障害者福祉法				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則				
	こすもす生活園・なのはな生活園利用者					杉並区立身体障害者通所施設運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			光熱水費執行、施設保守管理委託		活動指標名			デイサービスを利用したのべ人数 施設の建設面積	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			利用者が快適な環境の中で過ごすために良好な状況を維持していく。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
利用者が安全で快適な生活園でのデイサービスを受けられる良好な場を確保した。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	15年度			
指標	活動指標		人	6,175	8,958	6,943	11,650	12,116		
	活動指標		m <sup>2</sup>	1,223	1,223	1,223	1,813	1,813		
	成果指標									
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,662	26,959	21,564	23,324			
	職員数(正規 非常勤)		人	3.43	3.46	3.41	3.38	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	31,000	31,271	30,820	30,548		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	47,662	58,230	52,384	53,872			
	単位あたりコスト		千円	8	7	8	5			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円	4,109	5,666	5,733	6,898		
差引：一般財源		千円	43,553	52,564	46,651	46,974				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		特別な配慮が必要な重症な利用希望者の増加や、現利用者の高齢化、重度化に伴って、施設設備の対応が必要となる。							



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活園給食運営		整理番号	330			
所属名		厚生部障害者福祉会館こすもす生活園		コード	91542			
上位施策名(コード)								
予算事務事業名		こすもす生活園		コード	32200			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度			根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度			身体障害者福祉法				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 こすもす生活園・なのはな生活園利用者			杉並区立身体障害者通所施設条例・同施行規則 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 給食の調理業務委託			活動指標名 支給給食数 提供日数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者の身体状況に応じた食事を提供するため、その調理を委託している。利用者の口腔機能の身体状況に応じた食事を提供し、食事を楽しみ、健康の増進を図る。			成果指標名 給食希望者に対する給食提供率  各自に合わせた食形態の提供率				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 利用者の食生活を充実させ、利用者の自立支援の幅が広がった。また、このデイサービスの実施により家庭の介護の負担軽減につながった。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	15 年度	
指標	活動指標		食	6,082	8,958	6,853	11,458	11,924
	活動指標		日	442	449	436	458	458
	成果指標		%	100	100	100	100	100
	成果指標		%	100	100	100	100	100
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,043	17,115	16,383	23,690	特記事項
	職員数(正規 非常勤)		人	0.44	0.43	0.43	0.42	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,977	3,886	3,886	3,796	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	20,020	21,001	20,269	27,486	
	単位あたりコスト		千円	3	2	3	2	
	財源	受益者負担分	千円	245	2,743	2,113	3,105	
		その他特定財源	千円	4,008	4,238	4,357	7,005	
		差引：一般財源	千円	15,767	14,020	13,799	17,376	
受益者負担比率		%	1.2	13.1	10.4	11.3		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			加齢に伴う障害の重度化と家庭における介護者(主に保護者)の高齢化によるニーズの多様化が顕著である。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			個々の利用者の状況に即した食事内容及び食形態などの給食サービスに対する要望が強い。				
	今後の予測			利用者の高齢化や重度化が進行するため、増々、個々のニーズに合う、給食の提供は重要になっていくものと見込まれる。				



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活園利用者通所経費			整理番号		331			
所属名		厚生部障害者福祉会館こすもす生活園		コード	91542		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		こすもす生活園		コード	32200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		身体障害者福祉法 杉並区立身体障害者通所施設条例・同施行規則 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			送迎バスの運行		活動指標名				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			家族の送迎からの解放、身体障害者の社会参加の促進		成果指標名				
					送迎回数 (開園日数 × 利用者数 × 2) 送迎日数 充足率 (送迎率) 保護者が送迎から開放された時間					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 利用者が送迎バスで安全快適に通所し、生活園での各種デイサービスを受けられた。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		回	12,350	17,916	9,387	23,300	24,232		
	活動指標		日	465	458	458	466	466		
	成果指標		%	100	100	100	100	100		
	成果指標		時間	8,649	12,541	9,204	16,310	16,962		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	49,116	43,546	43,545	73,181			
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.44	0.43	0.43	0.42	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,977	3,886	3,886	3,796		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	53,093	47,432	47,431	76,977			
	単位あたりコスト		千円	4	3	5	3			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円	18,059	18,214	18,430	21,675		
差引：一般財源		千円	35,034	29,218	29,001	55,302				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			一般交通機関の利用が困難なので、保護者から感謝されている。 乗降場所などによりきめの細かいサービスが要求されている。						
	今後の予測			利用が増えることにより、送迎バスの増が考えられる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活圏利用者日常生活訓練				整理番号		332		
所属名		厚生部障害者福祉会館こすもす生活圏		コード		91542		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		こすもす生活圏		コード		32200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度		根拠法令等				
	事業終了期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 身体障害者福祉法 杉並区立身体障害者通所施設条例・同施行規則 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 こすもす生活圏・なのはな生活圏利用者						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			機能訓練、社会適応訓練、創作的活動、レクリエーション等、スポーツ、厚生相談、健康指導、入浴サービス 給食サービス 送迎サービス		活動指標名				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			利用者が自分のもっている能力を十分発揮し、地域社会において、生き生きと生活する。		成果指標名				
					のべ通所人数 開所日数 × 利用時間 × 利用者数  利用者の生活の質が向上した度合い  家族が介護から解放される時間					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		人	6,175	8,958	6,943	11,650	12,116		
	活動指標		時間	33,962	49,269	38,186	64,075	66,638		
	成果指標									
	成果指標		時間	33,962	49,269	38,186	64,075	66,638		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,614	3,372	2,818	3,038			
	職員数(正規 非常勤)		人	21.44	24.58	24.36	31.53		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	193,775	222,154	220,166	284,968			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	197,389	225,526	222,984	288,006			
	単位あたりコスト		千円	32	25	32	25			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円	883	860	761	913		
差引：一般財源		千円	196,506	224,666	222,223	287,093				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			加齢に伴う障害の重度化と家庭における介護者(主に保護者)の高齢化によるニーズの多様化が顕著である。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			個々の利用者の状況に即したサービスに対する要望が強い。						
	今後の予測			利用者の高齢化、重度化、また医療的ケアが必要な入所希望者の増加など、指導医の確保を含む需要の増加が見こまれる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活園訓練及び行事				整理番号	333		
所属名		厚生部障害者福祉会館こすもす生活園		コード	91542	上位施策名(コード)			
予算事務事業名		こすもす生活園		コード	32200	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度		根拠法令等			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 身体障害者福祉法			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			こすもす生活園・なのはな生活園利用者、保護者、地域住民、関係団体		活動指標名			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			社会経験を積む貴重な機会とすると共に、他者とのコミュニケーションを図り、主体的な行動を取れるようにし、自立心を涵養させる。		成果指標名			
活動内容 (所外、所内)			こすもす祭り 荻窪小学校地域子育てネットワーク「秋祭り」 社会適応訓練		宿泊利用者数 まつり参加者数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			社会経験を積む貴重な機会とすると共に、他者とのコミュニケーションを図り、主体的な行動を取れるようにし、自立心を涵養させる。		(代) 宿泊利用者数  (代) まつり参加者数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
利用者の生活を充実させた。利用者の経験の幅が広がった。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値		
				計画	実績	計画	15 年度		
指標	活動指標		人	20	51	42	62	64	
	活動指標		人	450	1,050	990	1,050	1,050	
	成果指標		人	20	51	42	62	64	
	成果指標		人	450	1,050	990	1,050	1,050	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,102	2,522	2,170	2,655		
	職員数(正規 非常勤)		人	3.43	3.46	3.41	3.38	特記事項 祭り参加者数と社会適応訓練参加者数については、単価あたりのコストに反映されていない。	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	31,000	31,271	30,820		30,548
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	33,102	33,793	32,990	33,203		
	単位あたりコスト		千円	1,655	663	785	536		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円	457	456	574		785
差引：一般財源		千円	32,645	33,337	32,416	32,418			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		加齢に伴う体力の低下が顕著であり、一部の利用者には所外宿泊が難しくなりつつある。障害の程度の差異が大きくなり、2回に分けて実施しているが、目的が絞りにくくなってきている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		無理のない範囲での所内所外の宿泊が望まれている。町会役員、PTA、青少年育成委員会などの地域団体に評価されている。						
	今後の予測		社会適応訓練、まつりについては、障害者が社会参加し、自己実現を図るために需要は増加する。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		和田障害者交流館			整理番号	334			
所属名	障害者福祉会館 管理係	コード	91531		上位施策名(コード)				
予算事務事業名	和田障害者交流館				*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
		コード	32410						
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成 7 年度		根拠法令等					
	事業終期	● 無 ○ 有 平成 年度		□ 実施計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内の障害者とその家族、ボランティア団体。機能訓練を目的とする団体。		杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例同施行規則 杉並区立和田障害者交流館の登録等に関する要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	障害者雇用支援事業団への委託により、施設の提供など運営管理を行なう。			活動指標名				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の自主的な集会や機能訓練を行なう場を身近な地域で提供し、地域での障害者の自立と社会参加を高める。また障害者雇用支援事業団への委託により、障害者の就労の場の確保を図る。			成果指標名				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								利用率 (活動室の充足率、利用回数 / 年間利用可能室数 1998室)	
障害者の自立と社会参加に貢献している。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	17年度		
指標	活動指標		回	597	1,000	701	1,000	1,200	58.4
	活動指標		人	12,072	20,000	14,305	20,000	24,000	59.6
	成果指標		%	30	50	35	50	60	58.3
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,602	17,214	16,500	16,563	17,000	97.1
	職員数(正規   非常勤)		人	0.18	0.18	0.18	0.24	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,627	1,627	1,627	2,169	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	18,229	18,841	18,127	18,732		
	単位あたりコスト		千円	31	19	26	19		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	
差引：一般財源		千円	18,229	18,841	18,127	18,732			
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			委託先の障害者事業団が財団法人化され障害者雇用支援事業団となり、委託団体が安定した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			車椅子利用者から、駐車場へ屋根の設置希望がある。障害児の放課後対策として優先的利用の希望がある。					
	今後の予測			障害者の機能訓練や放課後対策の場としての利用増と地域の障害者団体等の利用は今後も増加すると予測される。一方、高円寺に平成14年4月予定で開設される心身障害者集会所の影響による利用減も予測される。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理等		整理番号		335		
所属名		子ども発達センター 管理係		コード		91631		
予算事務事業名		子ども発達センター		コード		32420		
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法 杉並区立子ども発達センター条例 杉並区立子ども発達センター運営要綱		
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	区立施設							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			建物の維持管理 施設運営に関する事務		活動指標名 延床面積 施設開所日数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			区民が安全・快適に利用できるよう施設を良好な状態に維持する。		成果指標名 修繕件数			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 総合的な療育を実施するための環境を整備する。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	13年度	
指標	活動指標		m <sup>2</sup>	1,775	1,775	1,775	1,775	
	活動指標		日	245	244	244	245	
	成果指標		件	2	10	7	10	
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,772	27,618	25,679	26,404	
	職員数 (正規   非常勤)		人	1.78	1.55	1.55	1.55	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	16,088	14,009	14,009	14,009	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	44,860	41,627	39,688	40,413	
	単位あたりコスト		千円	25	23	22	23	
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	
		その他特定財源	千円	28	88	52	64	
		差引：一般財源	千円	44,832	41,539	39,636	40,349	
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		特に変化なし。 利用児推移 平成 9年度...263人、平成11年度...438人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		障害者団体等に、プールの目的外使用の希望がある。					
	今後の予測		年数の経過に伴い、施設の維持管理(保全)経費の増加が予想される。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		給食運営			整理番号		336		
所属名		こども発達センター 管理係		コード	91631		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		こども発達センター		コード	32420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都障害児施設措置費支弁基準			
	通園グループ指導事業(たんぽぽ園)在籍児及びその保護者給食指導職員					杉並区立こども発達センター給食実施要領			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			・通園児童への昼食の提供 ・児童の口腔機能に応じた形態の調理 ・摂食指導の実施		活動指標名			給食提供数 特別な形態食、アレルギー対応食を必要とする児童数
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			・集団の場での喫食に慣れ、健全な発育に必要な栄養を確保する。 ・口腔機能の向上と食域が広がる		成果指標名			給食提供数延/対象者延数  口腔機能向上児童数/特別な形態食、アレルギー対応食を必要とする児童数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 障害児の食生活に関する発達の機会を提供する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		食	13,915	20,283	15,328	17,078		
	活動指標		人	35	40	35	40		
	成果指標		%	72	85	76	85		
	成果指標		%	42	50	42	5		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,470	15,040	13,209	13,761	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	1.49	1.51	1.51	1.51		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,467	13,647	13,647		13,647
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	25,937	28,687	26,856	27,408		
	単位あたりコスト		千円	2	1	2	2		
	財源	受益者負担分		千円	1,314	4,692	3,083		3,636
		その他特定財源		千円					
		差引:一般財源		千円	24,623	23,995	23,773		23,772
受益者負担比率		%	5.1	16.4	11.5	13.3			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			給食提供を義務づけた国の方針に変更はない。形態については、個々の口腔機能に合わせて行ってきたが、それに加えアレルギー食への対応を行っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			親子通園グループの親にも給食を提供してほしいという要望がある。					
	今後の予測			調理委託料との関係ではこれ以上給食数を増やすのは現状としては難しい。家庭における調理機能が低下することも考えられるので、給食を通じたの援助、指導がより一層必要になると思われる。					



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		利用者通所バス(たんぼぼ園通園バス)			整理番号	337			
所属名	子ども発達センター 管理係	コード	91631		上位施策名(コード)				
予算事務事業名	子ども発達センター	コード	32420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区立子ども発達センター運営要綱					
	通園グループ指導事業(たんぼぼ園)在籍児及びその保護者			杉並区立子ども発達センター通園グループ通所バス運行要領					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名					
住所や身体状況を考慮した停留所を設定し、マイクロバス3台で送迎する。また、社会体験・保育園交流等の交通手段として運行する。			バス運行日数						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			バス運行回数						
子どもが抱えている課題を解決するため、利用者の利便を図り、通園の動機づけや継続的通園を支援する。			成果指標名						
			(代)バス運行回数÷バス運行日数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
継続した働きかけが必要な親子の通園の利便を図り、障害のある子どもの発達を援助する。									
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
	活動指標	日	252	252	254	254			
	活動指標	回	1,918	1,900	1,944	1,900			
総事業費・コスト把握	成果指標	回	8	8	8	7			
	成果指標								
	事業費	千円	36,645	34,865	33,864	33,365			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.52	0.50	0.50	0.50	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,700	4,519	4,519	4,519		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	41,345	39,384	38,383	37,884			
	単位あたりコスト	千円	164	156	151	149			
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円						
差引:一般財源		千円	41,345	39,384	38,383	37,884			
受益者負担比率	%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	通園バス運行を義務づけた国の方針に変更はない。開設当初は、たんぼぼ園の通園児の送迎と社会体験事業に主として運行していたが、通園事業に支障のない範囲で個別指導に来所する肢体不自由児や通園体験グループ等にも広げ、より有効に活用している(11年度)。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	心身の発達に障害や遅れのある就学前の子どもが1時間も乗車するのは厳しい。通所時間の短縮を図るため増車してほしい。							
	今後の予測	杉並全域どこに住んでいても通所の利便性を図ることが必要。4月及び年度途中にも通園児の入れ替えがあり、柔軟な運行が常に求められると考える。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通園グループ指導(たんぼぼ園)				整理番号		338			
所属名		厚生部こども発達センター管理係		コード		91631		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		こども発達センター		コード		32420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都障害児施設措置費支弁基準					
	心身に障害や発達の遅れのある、就学前の子どもとその保護者					東京都障害児通園(デイサービス)事業運営費補助金交付要綱					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			幼児グループと親子グループの9グループ編成。自由遊び、課題あそび、専門療法、社会体験活動等を実施し、子どもの発達を促す。		活動指標名				通園児数 通園希望者数	
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			集団での活動を通して低年齢期からの適切な療育を実施することによって発達を促し、子どもがより身近な地域の中で生活できるようにする。また、保護者が子どもの障害を受容し、見通しをもって子育てできるようにする。		成果指標名				(代)通園児数÷通園希望者数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
一人ひとりの状況に配慮した療育を実施することにより、障害児の発達を援助する。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標		人	85	85	80	90				
	活動指標		人	122	120	108	120				
	成果指標		%	69	70	74	75				
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,184	8,826	8,466	8,479				
	職員数(正規 非常勤)		人	17.16	15.42	15.42	15.42	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	155,092	139,366	139,366	139,366			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	164,276	148,192	147,832	147,845				
	単位あたりコスト		千円	1,933	1,743	1,848	1,643				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	99,086	98,733	98,209	100,364			
		差引:一般財源		千円	65,190	49,459	49,623	47,481			
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			医療機関からの紹介や乳幼児健診の充実により、低年齢児の通園希望が増加している。平成9年4月 0歳児・3人 1歳児・10人 2歳児・11人 平成11年4月 0歳児・4人 1歳児・8人 2歳児・23人 3歳児・28人 4歳児・4人 5歳児・2人							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			通園を希望したら、いつでもすぐに入れてほしい。							
	今後の予測			将来的には地域の障害児教育及び保育がさらに推進され、たんぼぼ園在園期間が短縮することが予測される。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訓練及び行事			整理番号		339			
所属名		子ども発達センター 管理係		コード	91631		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		子ども発達センター		コード	32420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都障害児施設措置費支弁基準				
	通園グループ在籍児及びその家族 センター利用児及びその家族					杉並区立子ども発達センター条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			園外訓練、運動会、就学を祝う会、お別れ会 夏祭り		活動指標名			園外訓練等の参加者数 夏まつりの参加者数	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			子ども達が訓練や行事に参加し、さまざまな体験をすることで、成長のきっかけとする。 日頃の活動の節目として子どもの成長発達を確認し、次の療育段階への動機づけを行う。		成果指標名			(代) 園外訓練等に参加した児童数 / 対象児童数  (代) 夏まつりの参加者数 / 対象者数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 様々な節目の活動を通じて、子どもの発達を促している。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 14 年度	目標値に対する11 年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		人	190	259	239	259	267	92.0	
	活動指標		人	311	300	270	300	250	108.0	
	成果指標		%	65	90	82	90	92	89.0	
	成果指標		%	72	80	77	80	90	85.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	447	614	450	411			
	職員数(正規   非常勤)		人	1.38	1.36	1.36	1.36	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,472	12,292	12,292	12,292			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	12,919	12,906	12,742	12,703			
	単位あたりコスト		千円	68	50	53	49			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引：一般財源		千円	12,919	12,906	12,742	12,703				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			特になし						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測			訓練、行事等は子どもの成長には大事な取り組みであり、内容・対象者については見直しはあるが、必要な事業ではある。 夏祭りについては対象が減少する可能性もある。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		相談		整理番号		340		
所属名		こども発達センター 管理係		コード		91631		
上位施策名(コード)								
予算事務事業名		こども発達センター		コード		32420		
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区立こども発達センター条例			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区立こども発達センター運営要綱			
	心身の発達につまずきや障害があると思われる、区内在住の18歳未満の子どもの保護者及び関係者。		杉並区立こども発達センター相談事業実施要領					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名					
電話・来所による相談を受け、適切な解決策が得られるよう援助する。		相談実施件数(電話相談・一般相談・医療相談)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名						
相談者を受容し適切に対応することにより、保護者等が安心して療育・保育・教育等にのぞめるようになり、子どもの発達の機会が早期に保障される。		相談により適切な療育を受けられるようになった件数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
個々の相談に的確に対応するとともに、障害児の早期療育体制を確立する								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		件	560	550	476	500	
	活動指標							
	成果指標		件	547	550	465	500	
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,155	1,712	1,712	1,618	
	職員数(正規 非常勤)		人	2.65	3.13	3.13	3.13	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	23,951	28,289	28,289	28,289	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	25,106	30,001	30,001	29,907	
	単位あたりコスト		千円	45	55	63	60	
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	
		その他特定財源	千円					
		差引：一般財源	千円	25,106	30,001	30,001	29,907	
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始に伴う需要の掘り起こしは一段落した。 相談件数 平成9年度755件 平成10年度560件 平成11年度476件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		就学してからも、学校生活を含めいろいろな相談にのってほしいとの要望がある。					
	今後の予測		障害の発生率からみてほぼ横ばいの傾向で需要は推移すると思われる。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	言語心理指導	整理番号	341					
所属名	こども発達センター 管理係	コード	91631					
予算事務事業名	こども発達センター	コード	32420					
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度						
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	言語・心理の専門技術により、対象者の発達全般を促すとともに保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	言語・心理の専門的な指導によりその発達が促され、本人の可能性や能力が発揮できる。						
根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区立こども発達センター条例 杉並区立こども発達センター運営要綱 東京都障害児通園(デイサービス)事業運営費補助金交付要綱								
活動加指標名		個別指導及び専門相談実施件数						
成果指標名		(代)個別指導および専門相談実施実人数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 障害児の早期療育が充実する								
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
	活動加指標	件	3,001	3,000	3,500	3,000		
	成果指標	人	222	250	264	250		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	18,742	19,702	18,821	19,702		
	職員数(正規 非常勤)	人	1.40	1.60	1.60	1.60	特記事項	
	人件費	千円	12,653	14,461	14,461	14,461		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	31,395	34,163	33,282	34,163		
	単位あたりコスト	千円	10	11	10	11		
	財源	千円	3,467	2,760	3,430	3,490		
	その他特定財源	千円						
差引：一般財源	千円	27,928	31,403	29,852	30,673			
受益者負担比率	%	11.0	8.1	10.3	10.2			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	言語心理個別指導及び専門相談の実施件数 平成9年度2,250件 平成10年度3,001件 平成11年度3,500件						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、実施できていない学齢期児童への個別指導に対する要望がある。						
	今後の予測	学齢期児童の個別指導実施に対する要望はさらに高まると予想される。						



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健指導		整理番号		343			
所属名		子ども発達センター 管理係		コード		91631			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		子ども発達センター		コード		32420			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区立子ども発達センター条例			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区立子ども発達センター運営要綱			
	相談・通園グループ指導・個別指導の利用児とその保護者及び関係者。					杉並区立子ども発達センター保健医療事業実施要領			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名			
看護婦による視診で子どもの身体状況の把握。口腔機能・摂食嚥下機能の評価及び技術援助。保健・栄養相談に応じる他、保健だよりなどで保健情報を提供する					保健指導実施件数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名				
口腔機能・摂食・嚥下機能の向上、介助技術の向上などを図ることで、本人の可能性、能力が十分に発揮できる。					個別の摂食指導により摂食機能が向上した人数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
事業実施により障害児の療育を充実させる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		件	750	750	875	850		
	活動指標								
	成果指標		人	41	50	58	60		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	878	890	883	890		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.96	1.09	1.09	1.09	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,676	9,851	9,851		9,851
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	9,554	10,741	10,734	10,741		
	単位あたりコスト		千円	13	14	12	13		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円					
		差引：一般財源		千円	9,554	10,741	10,734		10,741
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			個別摂食指導件数 平成9年度18人 11年度58人 保護者や関係機関の中に摂食指導や医療的ケアに対する関心が高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			指導対象者が所属する保育園・学校等から、職員に対する指導・援助を充実して欲しいという要望がある。					
	今後の予測			医療的ケアが必要な障害の重い子どもが在宅生活を送るケースが増えて、発達センターとの関わりも増えると思われる 摂食指導対象者は増加する傾向であり、指導頻度の増加や関係職員への指導充実を求める声も増大すると予想される。					



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		運動機能リハビリテーション				整理番号	344		
所属名	子ども発達センター 管理係	コード	91631		上位施策名(コード)				
予算事務事業名	子ども発達センター				コード	32420			
					*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成 9 年度		根拠法令等					
	事業終期	● 無 ○ 有 平成 年度		□ 実施計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内在住の18歳未満で運動機能に障害があり、日常生活動作が困難な子どもとその保護者及び関係者。		杉並区立子ども発達センター条例 杉並区立子ども発達センター運営要綱 東京都障害児通園(デイサービス)事業運営費補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	理学療法及び作業療法の専門技術により対象者の運動発達を促すとともに、保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。補装具相談を実施する。		活動指標名					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	対象者の発達が促され、もてる能力を最大限に発揮して可能な限り質の高い日常生活を送ることができるようにする。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								リハビリテーション個別指導及び専門相談実施回数	
障害児の早期療育が充実する。								(代)リハビリテーション個別指導及び専門相談実施人数	
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		回	2,576	2,500	2,528	2,500		
	活動指標		人						
	成果指標		人	81	100	113	100		
	成果指標		人						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,919	3,945	3,559	4,066		
	職員数(正規 非常勤)		人	3.06	3.66	3.66	3.66	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	27,656	33,079	33,079	33,079		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	30,575	37,024	36,638	37,145		
	単位あたりコスト		千円	12	15	14	15		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円	3,467	2,760	3,430		3,490
		差引：一般財源		千円	27,108	34,264	33,208		33,655
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		リハビリテーション登録者数 9年度92人   10年度81人   11年度113人						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		定期的な個別指導を、18歳まで実施してほしい。 発達評価や指導のスパンを最低1年にしてほしい。						
	今後の予測		学齢期児童の個別指導に対する要望はさらに高まると予想される。 教育機関との連携を求める声も強くなると予想される。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	巡回指導	整理番号	345					
所属名	こども発達センター 管理係	コード	91631					
上位施策名(コード)								
予算事務事業名	こども発達センター	コード	32420					
*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	杉並区立こども発達センター条例					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 障害児が在籍する区内保育園の保育士等	杉並区立こども発達センター運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	児童精神科の医師やこども発達センターの職員が保育園に向き、担当者の相談に応じ助言指導・情報交換を行うことで、相互に協力しながら障害児の抱える課題の解決を図る。	杉並区立こども発達センター巡回指導実施要領					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	保育担当者が不安なく障害児保育に従事し、適切に指導することで障害児の地域での生活が充実する。	活動指標名	巡回指導実施件数				
		成果指標名	保育園の障害児認定児童数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 総合的療育体制づくりを実現する。								
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度計画	目標値年度	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標	件	198	177	209	192		
	活動指標	回						
	成果指標	人	86	109	89	119		
	成果指標	件						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,057	5,619	5,619	5,660	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)	人	0.48	0.58	0.58	0.58		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,338	5,242	5,242		5,242
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費	千円	9,395	10,861	10,861	10,902		
	単位あたりコスト	千円	47	61	52	57		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0		0
		その他特定財源	千円					
		差引：一般財源	千円	9,395	10,861	10,861		10,902
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	巡回指導実施回数 9年度139回 10年度198回 11年度209回 9年度まで保育課と分担して実施していたが、10年度からこども発達センターの事業として一本化した。 12年度からは区立保育園については全園で実施予定である。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	幼稚園や学童クラブにも巡回してほしいという要望がある。						
	今後の予測	幼稚園等への指導実施に対する要望はさらに高まると予想される。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		療育講座等		整理番号		346			
所属名		子ども発達センター 管理係		コード		91631			
予算事務事業名		子ども発達センター		コード		32420			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区立子ども発達センター条例			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区立子ども発達センター運営要綱			
	子ども発達センター利用児の保護者 関係機関の職員								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名					
療育講座(年3回) 施設公開(年1回)			開催数 参加者数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名						
保護者が、子どもの状況を理解し、子育ての励みや見通しをもった子育てができるようになる。 ・ 障害や子育てについての最新の知識や情報を得ることで、地域での受け入れや関係機関の連携をスムーズにする。			(代) 参加者数 / センター利用登録者数						
			(代) 参加機関数 / 案内状を送付した関係機関数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか			保護者の見通しをもった子育てや総合的療育体制づくりを実現する。						
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
			計画	実績					
指標	活動指標	回	4	4	4	4			
	活動指標	人	306	360	274	360			
	成果指標	%	15	30	15	30			
	成果指標	%	62	70	51	70			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	254	259	215	257	特記事項	
	職員数(正規   非常勤)		人	0.80	0.70	0.70	0.70		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,230	6,327	6,327	6,327		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	7,484	6,586	6,542	6,584		
	単位あたりコスト		千円	1,871	1,646	1,635	1,646		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引：一般財源		千円	7,484	6,586	6,542	6,584			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		講座の内容に関する要望が、多岐かつ専門的になってきているが、センター事業全体の中で日程調整、講師との交渉等、見通しをもって実施できるようになってきた。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		より個々のニーズに応じた専門的な内容を実施してほしい。 もっと回数を増やしてほしい。						
	今後の予測		子どもの発達に不安を抱える保護者は今後も新たに発生していくので、入門的な内容の講座の需要は変わらない。また、学齢児等の成長・年齢に適した専門的な内容の需要が高まる。						